

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初,12 月補正	事 項	海岸保全施設整備事業費								予算主管課		農地整備課				
	事 業 概 要	高潮、津波、波浪、侵食等による被害から海岸を防護し、国土を保全するために海岸保 全施設を整備する。								始期		1956				
										終期						
	K P I	整備完了により安全性が高まった県管理海岸数														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	5 地区		目標値	5 地区		目標値	6 地区		目標値	8 地区		
		実績値	地区		実績値	5 地区		実績値	5 地区		実績値	7 地区		実績値	地区	
		ストック /フロー	ストック		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	133.3 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	145647 千円		最終現計 予算額	634200 千円		最終現計 予算額	917283 千円		最終現計 予算額	千円	
	決算額				145647 千円		決算額	221375 千円		決算額	606396 千円		決算額	千円		
							繰越額	295672 千円		繰越額	千円					
							不用額	15215 千円		不用額	千円					
	7 年 度	要因分析	要因													
			総括													
		見直し方向性	維持	7年度の目標達成率は想定以上の成果が出ており、予算割当状況及び事業進捗を踏まえると、8年度以降も KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,12月補正	事 項	地すべり対策事業費							予算主管課	農地整備課	
	事 業 概 要	農林水産省農村振興局所管の地すべり防止区域内において、農業基盤の維持、国土保全及び民生の安定化のための整備を行う。							始期	1960	
									終期		
	K P I	地すべり対策を実施した地区数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	73 地区	目標値	73 地区	目標値	73 地区	目標値	73 地区
		実績値	地区	実績値	73 地区	実績値	73 地区	実績値	73 地区	実績値	地区
		ストック /フロー	ストック	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	148587 千円	最終現計 予算額	178815 千円	最終現計 予算額	366854 千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			142966 千円	決算額	46395 千円	決算額	223090 千円	決算額	千円	
				繰越額	129944 千円	繰越額	千円				
				不用額	13820 千円	不用額	千円				
7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は目標達成率100%のため、8年度以降も事業進捗を踏まえると、KPIは目標達成 と考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,12月補正,2月補正	事 項	ため池防災・減災対策事業費							予算主管課		農地整備課					
	事 業 概 要	老朽化や耐震不足で危険な状態となっている防災重点ため池などの改修や耐震対策、利用されていないため池の廃止を実施し、ため池の防災対策の加速化を図る。							始期		1962					
									終期							
	K P I	下流への被害が防止された防災重点ため池割合														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	80 %		目標値	81 %		目標値	82 %		目標値	84 %		
		実績値	%		実績値	80 %		実績値	81 %		実績値	83 %		実績値	%	
		ストック /フロー	ストック		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	101.2 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計	千円		最終現計	2012859 千円		最終現計	3015729 千円		最終現計	千円	
	予算額						予算額			予算額			予算額			
	決算額				千円		決算額	717741 千円		決算額	1848708 千円		決算額	千円		
							繰越額	1157890 千円		繰越額	千円					
						不用額	9131 千円		不用額	千円						

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、これまでの事業実施状況を踏まえると、8年度以降もKPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,12月補正	事 項	農業水利施設防災対策事業費							予算主管課		農地整備課					
	事 業 概 要	治水上支障の恐れのある河川取水施設を整備・補強し、災害の未然防止を図る。							始期		1980					
									終期							
	K P I	防災機能が向上した取水堰及び排水機場数														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	2 か所		目標値	3 か所		目標値	3 か所		目標値	4 か所		
		実績値	か所		実績値	1 か所		実績値	2 か所		実績値	2 か所		実績値	か所	
		ストック /フロー	ストック		達成率	50 %		達成率	66.7 %		達成率	66.7 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計	69137 千円		最終現計	87757 千円		最終現計	165225 千円		最終現計	千円	
	予算額						予算額			予算額			予算額			
	決算額				64438 千円		決算額	39099 千円		決算額	103974 千円		決算額	千円		
							繰越額	61200 千円		繰越額	千円					
						不用額	51 千円		不用額	千円						

7 年 度	要因分析	要因 関係機関との協議・調整により前年度の完了予定を延期した1か所について、令和8年度の完了を目標に工事を進めており、未達成となった。								
		総括								
	見直し方向性	改善	7年度の目標達成率は想定を下回っており、8年度の要求に対する国の割当額も低調であったことから、国に対して農業農村整備予算の総額確保を要望するとともに、周辺地域の被害の防止と用水供給に支障が生じないよう、令和8年度の執行過程において、施設の老朽化に応じた部分的な保全対策や監視の強化についても検討していく。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,12月補正,2月補正	事 項	ため池管理保全推進事業費								予算主管課	農地整備課
	事 業 概 要	ため池保全サポートセンターによる防災重点ため池の劣化状況評価等を実施し、管理・監視体制の強化を図る。								始期	2021
										終期	
	K P I	サポートセンターが点検・パトロール・助言を実施した件数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	60 か所	目標値	60 か所	目標値	60 か所	目標値	60 か所
		実績値	か所	実績値	75 か所	実績値	66 か所	実績値	62 か所	実績値	か所
		ストック /フロー	フロー	達成率	125 %	達成率	110 %	達成率	103.3 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	16050 千円	最終現計 予算額	53700 千円	最終現計 予算額	70199 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	14000 千円	決算額	25762 千円	決算額	40358 千円	決算額	千円
					繰越額	27579 千円	繰越額	千円			
					不用額	2262 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、これまでの事業実施状況を踏まえると、8年度以降もKPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,6 月補 正,12 月補 正,2月 補正	事 項	山地防災治山事業費							予算主管課		森林整備課					
	事 業 概 要	土砂流出等による災害の防止や被災した山腹・溪流を復旧するため、谷止工などの山地 防災対策を行う。							始期		1965					
									終期							
	K P I	土石流等による 2 次災害の発生防止対策がされた箇所数														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	25 箇所		目標値	25 箇所		目標値	26 箇所		目標値	20 箇所		
		実績値	16 箇所		実績値	22 箇所		実績値	34 箇所		実績値	26 箇所		実績値	箇所	
		ストック /フロー	フロー		達成率	88 %		達成率	136 %		達成率	100 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	1026778 千円		最終現計 予算額	2610888 千円		最終現計 予算額	4655854 千円		最終現計 予算額	千円	
	決算額				1026177 千円		決算額	2608617 千円		決算額	2842076 千円		決算額	千円		
						繰越額	1802173 千円		繰越額	千円						
						不用額	11605 千円		不用額	千円						

7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は目標値を達成しており、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	県単独治山事業費								予算主管課		森林整備課	
	事 業 概 要	国庫補助事業等の採択要件を満たさない小規模な山地災害の復旧のうち、市町等が実施するものについて、県が支援をすることにより人家・公共施設等の保全を推進する。								始期		1971	
										終期			
	K P I	土石流等による 2 次災害の発生防止対策の実施率（市町分）											
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %		
		実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	0 %	実績値	0 %	実績値	%		
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	0 %	達成率	0 %	達成率	%		
		コ ス ト		最終現計 予算額	4250 千円	最終現計 予算額	4250 千円	最終現計 予算額	4250 千円	最終現計 予算額	千円		
	決算額			4250 千円	決算額	0 千円	決算額	0 千円	決算額	千円			
					繰越額	千円	繰越額	千円					
					不用額	4250 千円	不用額	千円					

7 年 度	要因分析		要因 当該事業は年度内に発生した災害において、国庫補助事業の対象外となる災害復旧事業を行うものであるが、令和7年度においては事業対象となる被害が発生しなかったため、事業実績は0となった。								
			総括								
	見直し方向性	維持	達成率が不調となった要因が、当該事業の対象となる被害が発生しなかったことによるものであるため、見直しは行わない方針としている。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,2 月補正	事 項	集落等山地災害危険地区整備事業費							予算主管課		森林整備課	
	事 業 概 要	県が定める山地災害危険地区のうち国庫補助事業等の採択基準を満たさず、土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨等によって集落等に被害を及ぼす恐れのある森林について、緊急的に予防工事を行う。							始期		2008	
									終期		2029	
	K P I	山地災害危険地区の整備が完了し安全性が向上した割合										
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	80 %	目標値	100 %	目標値	20 %	目標値	40 %	
		実績値	57 %	実績値	71 %	実績値	82 %	実績値	11 %	実績値	%	
		ストック /フロー	ストック	達成率	88.8 %	達成率	82 %	達成率	55 %	達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	40000 千円	最終現計 予算額	40000 千円	最終現計 予算額	24905 千円	最終現計 予算額	千円	
	決算額			39269 千円	決算額	32018 千円	決算額	19313 千円	決算額	千円		
				繰越額	千円	繰越額	千円					
				不用額	5592 千円	不用額	千円					

7 年 度	要因分析		要因 入札不調により年度内執行が不能となった箇所が複数あったため、実績が低調なものとなった。								
			総括								
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は入札不調等により低調となったが、8年度以降も現状の二ーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法の大幅な見直しは想定していないが、要望調査の時期を前倒し等により、工期の確保に努める方針としている。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

6月補正,2月補正	事 項	林野火災対応緊急治山事業費							予算主管課	森林整備課	
	事 業 概 要	林野火災により被災した荒廃山地について、今後の降雨等により二次災害が発生するおそれがあるため、山地防災対策により災害の未然防止を図り、県民が安全で安心して暮らせる強靱な県土づくり及び災害に強い森林づくりを推進する。							始期	2025	
									終期	2025	
	K P I	林野火災により土砂流出対策が必要となった箇所の整備率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	%	目標値	%	目標値	100 %	目標値	%
		実績値	%	実績値	%	実績値	%	実績値	41 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	41 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	207792 千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			千円	決算額	千円	決算額	88295 千円	決算額	千円	
				繰越額	112697 千円	繰越額	千円				
				不用額	6800 千円	不用額	千円				

7 年 度	要因分析		要因 施工箇所が未国調地域であり、土地の境界の確認に不測の時間を要したため。 「※終期延長（R7→R8） R8目標値 100%」)							
			総括 土地の境界確認により不測の時間を要したため、目標達成率は低調なものとなった。 確認作業は完了しているため、引き続き工事の早期完了に努めたい。							
	見直し方向性									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,2 月補正	事 項	地域漁港海岸総合整備事業費						予算主管課		漁港課			
	事 業 概 要	漁村地域において水産基盤及び海岸保全施設の整備に関して各分野で実施してきた既存 の事業を、ニーズに即して策定された計画に基づき、各公共事業を自由に選択すること により、漁村の総合的な施設整備を行う。						始期		2000			
								終期		2031			
	K P I	整備完了により安全性を確保した漁港海岸数											
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	5 海岸		目標値	5 海岸		目標値	6 海岸		
		実績値	5 海岸		実績値	5 海岸		実績値	5 海岸		実績値	6 海岸	
		実績値	5 海岸		実績値	5 海岸		実績値	5 海岸		実績値	6 海岸	
		実績値	5 海岸		実績値	5 海岸		実績値	5 海岸		実績値	6 海岸	
	ストック /フロー	ストック		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %		
コ ス ト			最終現計	225185 千円		最終現計	153984 千円		最終現計	462414 千円			
			予算額	224178 千円		予算額	153912 千円		予算額	339907 千円			
			決算額	224178 千円		決算額	153912 千円		決算額	339907 千円			
			決算額	224178 千円		決算額	153912 千円		決算額	339907 千円			

7 年 度	要因分析		要因							
			総括							
	見直し方向性		維持	国の交付金や補助金を財源に活用して事業を計画的に実施しており、7年度のKPIの実績は、想定どおりの成果が出ている、また、8年度以降も事業（施設整備等）を継続することで、KPIは目標値を達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度以降の予算の見直しは想定していない。						

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。